



砂利を担ぐ人 (撮影:昭和30年・分田・村上孟氏)

昔の'写真と紙芝居を通してよみがえる

# 阿賀野川と共に 生きたあの頃

定員50名(当日先着順)・参加無料・申込不要

## 日時

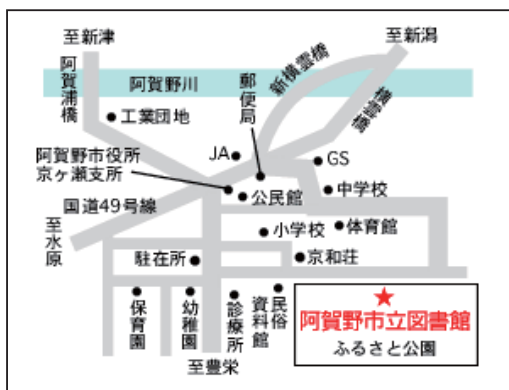
平成24年3月3日(土)

13時30分～15時(開場13時～)

## 場所

阿賀野市立図書館 視聴覚室

(阿賀野市曾郷1028番地、TEL0250-67-2500)



## クリーム豆腐♪

参加者は持ち帰り頂けます!

安田の「神田酪農」自慢の自家ブランド牛乳を、中流の旅館が「クリーム豆腐」としてアレンジした逸品です!

(※図書館内は飲食厳禁です)

なめらかな牛乳の味わい!

## 内容1

映像作品の上映



かつて昭和電工と共に栄えた当時の鹿瀬の歴史を貴重な写真の数々と共に振り返る映像作品。

## 内容2

紙芝居の上演

こっこ制作による紙芝居三部作の完結編。新潟水俣病を調べるため流域を駆け巡る小学生の成長物語。



## 内容3

パネル作品の解説



中流域独特の風土が育んだ様々な地場産業が織りなす光と影の歴史を描き出したパネル作品。

主催:  新潟県

共催: 阿賀野市 後援: 新潟市、五泉市、阿賀町

企画・連絡先: 阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業事務局  
(一般社団法人あがのがわ環境学舎内)

お問い合わせ TEL 0250-68-5424

阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業とは?

通称「阿賀野川えとこだプロジェクト」(略称「FM事業」)。阿賀野川流域の各地域が今も続く新潟水俣病と向き合い、それを乗り越えるような「人と人の絆」や「人と自然の関係」を紡ぎ直すため、流域の住民・行政・民間団体が手を取り合い、「新しい流域づくり」を目指して始まったプロジェクト。